

平成26年8月1日（金）
国土交通省関東地方整備局

記者発表資料

関東地方整備局事業評価監視委員会（平成26年度第2回）の開催結果について

関東地方整備局では、平成26年7月31日に、公共事業の効率性及びその実施過程の透明性の一層の向上を図るため、事業評価監視委員会を開催しましたので、審議結果をお知らせします。

審議の結果、6件が対応方針（原案）のとおり了承されました。

なお、議事概要は、別紙のとおりです。

※配付資料については、関東地方整備局ホームページでご覧下さい。

関東地方整備局ホームページ(<http://www.ktr.mlit.go.jp/>) →募集・情報公開→公共事業の評価

URLダイレクト入力の場合 <http://www.ktr.mlit.go.jp/shihon/index00000018.html>

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、埼玉県政記者クラブ、神奈川建設記者会
茨城県政記者クラブ、栃木県政記者クラブ、刀水クラブ・テレビ記者会
千葉県政記者会、都庁記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 TEL. 048-601-3151（代表）

企画部技術企画官 まつやま 松山 おさむ 治（内線3126）

企画部 企画課 課長補佐 たかはし 高橋 いわお 岩夫（内線3153）

(別紙)

関東地方整備局事業評価監視委員会（平成26年度第2回）

議事概要

1. 日 時 平成26年7月31日（木）15:30～18:00
2. 場 所 さいたま新都心合同庁舎2号館 14階 「災害対策本部室」
3. 出席者

[委員長代理]

清水 義彦（群馬大学理工学研究院教授）

[委員]

朝香 博（東京商工会議所地域振興部長）

池邊 このみ（千葉大学大学院園芸学研究科教授）

大野 栄治（名城大学都市情報学部教授）

楓 千里（(株)JTBパブリッシング 執行役員ソリューション事業本部副本部長）

加藤 一誠（日本大学経済学部教授）

堤 マサエ（敦賀市立看護大学教授）

若松 加寿江（関東学院大学理工学部教授）

（敬称略、五十音順）

[関東地方整備局]

局長 越智、企画部長 五道、河川部長 泊、道路部長 後藤、
用地部長 笹川 他

[独立行政法人水資源機構]

理事 爲沢、ダム事業部長 桜井 他

4. 議事概要

(1) 挨拶

- ・ 関東地方整備局長

(2) 審議

1) 再評価対象事業の概要説明

- ・ ダム事業3件、道路事業3件の概要説明。

2) 審議

- ・ 事務局より説明された再評価対応方針（原案）は、6件を対応方針（原案）のとおり、了承する。

<評価対象事業>

事業名	重点案件	事業箇所名	事業主体	対応方針(原案)	審議結果
ダム	○	利根川上流ダム群再編事業	関東地方整備局	中止	対応方針(原案)のとおり了承
	○	思川開発事業	(独)水資源機構	継続 ※	対応方針(原案)のとおり了承
	○	武蔵水路改築事業	(独)水資源機構	継続	対応方針(原案)のとおり了承
道路		一般国道6号 牛久土浦バイパス	関東地方整備局	継続	対応方針(原案)のとおり了承
		一般国道50号 結城バイパス	関東地方整備局	継続	対応方針(原案)のとおり了承
		一般国道51号 成田拡幅	関東地方整備局	継続	対応方針(原案)のとおり了承

○：特に重点的な審議を要する案件として選定された事業

※：新たな段階には入らず、生活再建事業を継続する。